

# KEY PERSON 地域活性化を担う

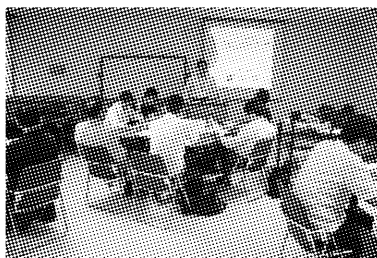
47

## 東北を日本で一番豊かに①

東北を日本で一番豊かにクニにする戦略は、間違いなく地域の強みである。1次産業資源・観光資源を活かし、農商工連携など6次産業化を実現して付加価値の高い産業、魅力的な仕事をつくり出すことである。そして、そのキーワードが「人材」であることは間違いない。

東北大学大学院（経済学研究科地域イノベーション研究センター・農学研究所）、宮城大学（地域

## プロジェクト地域活性社長 望月孝氏



連携センター・食産業学部）、東北経済連合会、一ノ蔵、伊豆沼農産、プロジェクト地域活性で構成する東北農商工連携プロジェクト「育成コンソーシアム」では、08・09年度経済産業省産学人材育成パートナーシップ事業の

## 6次産業化で付加価値創出

採択を受け、08年度に農商工連携の中核となる経営人材の育成を目指す「農商工連携プロジェクト「育成コンソーシアム」の取り組みを推進する。09年度に育成第1期を実施した。カリキュラムは、東北大学・宮城大学の先生、経営者等による「講義」、東北地域で先進的に農商工連携など6次産業化を実現している5地域ネットワークで農商工連携を推進

域での「実習」、職場や地域で実践しながら学ぶ「アクションラーニング」を効果的に進めるための「ワークショップ」、事業者への「ハンズオン支援」で構成される。

10・11年度には経済産業省農商工連携等促進人材創出事業に採択され、10年度に育成第2期を実施し、現在第3期をスタートしている。また、10年4月に育成第1期生が中心となって東北で6次産業化を推進する民間

ネットワーク「みちのく6次産業プラットフォーム」を設立した。プラットフォームでは、既に1期生、2期生の連携による新しいビジネスも始まっている。今後、プラットフォームを起点にして、東北全域で農商工連携など6次産業化による付加価値の高いビジネスを創出し、東日本大震災からの早期復興を実現して、東北を日本で一番豊かにクニにしたい。

（随時掲載）